

地域の中で生き生きと 豊かにゆかいにゆうゆうと

しごとと場 **大好き**
5周年記念誌

1993年～1997年

—— 5年間のまとめ ——

調布を耕す会

目次

グラビア 写真で振り返る5年間

あいさつ 4

「しごと場 大好き」開設5周年 調布を耕す会代表 桜井 義明
記念誌の発行にあたって

「地域の中で生き生きと」 しごと場大好き所長 亀田 良一郎

5周年に寄せて 6

5周年によせて 調布市福祉部障害福祉課課長 板橋 幸子

5年間を振り返って 大好きファミリー代表 安藤 光子

「大好き」のあゆみ 8

「しごと場 大好き」事業概要

1993年度

1994年度

1995年度

1996年度

1997年度

主な作業内容

グラフで見る5年間 16

財政状況の推移

「大好き」在籍者推移

メンバーの声 19

ファミリーの声 22

職員の声 23

お世話になっています 24

メディアに載った「大好き」 25

「大好き」の夢イラスト 26

メッセージ 28

関連事業紹介 31

地図 32

調布を耕す会

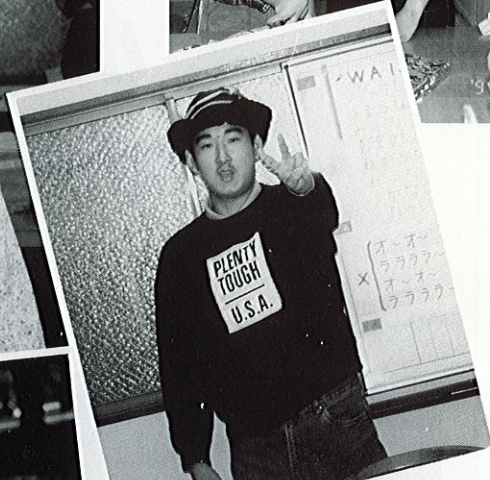
しごと場大好き
開所5周年記念誌

5年間のまとめ



ありがとう!!

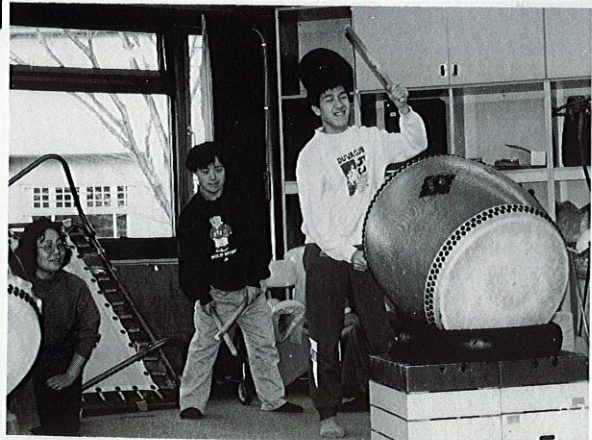
調布駅南口で行われる「調布を耕す会」の主催バザー
このバザーで、当日お手伝いいただく方、品物を提供して下さる方、
荷物を運んで下さる方等、本当に多くの人たちの協力で、たくさんの
市民の方々においでいただき、貴重な自主財源を得ています。そして、
この財源が作業所の運営費の一部に当てられて「大好き」の運営が成立
しています。みなさん本当にありがとうございます。



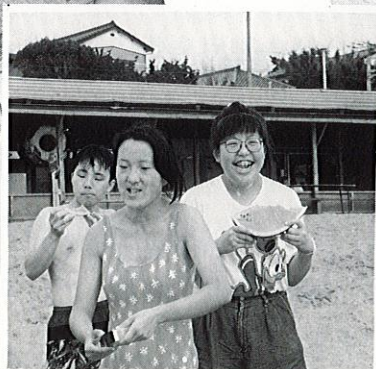
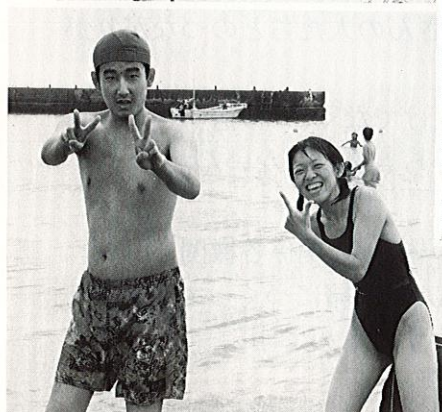
URESHI



TANOSHI



DAISUKI



「しごと場 大好き」開設5周年 記念誌の発行にあたって



調布を耕す会
代表 桜井 義明

「調布を耕す会」の第一番目の事業として始めた、福祉作業所「しごと場 大好き」が開所して今年の4月で5周年を迎えました。

この間お世話になったたくさんの方々への感謝の気持ちと5年間のあゆみということで記念誌にまとめましたのでご参考にしていただければ幸いです。

障害のある人たちが、個性豊かに生き生きと暮らしていける地域社会をつくっていききたいという目的で1992年1月に「調布を耕す会」が発足しました。障害のある人たちが、様々な形で地域社会に貢献し、自らも豊かに生き生きとできる作業所づくりをめざし約1年の間、週1回の定例活動や合宿、運営委員会、保護者会、場所さがし、バザー等による資金集めなど準備をすすめました。その間に養護学校の卒業を控えた障害児と保護者の方や地域の方がひとり、二人と仲間に加わり、たくさんの方が賛助会員になってくださり作業所づくりの運動が広がっていきました。作業所の具体的な形が全くみえない段階から、場所が決まり、作業内容や部屋のレイアウトなど、段々形が見え始めてきた以降も、話し合いの中で、常に私たちが言っていたのは、『だれかがつくった作業所』ではなく、「自分たちがやりたい作業所、自分の子どもを通わせたい作業所を従来の既成の考えにとらわれず、一緒につくっていきましょう」ということでした。

準備期間の1年間に趣旨に賛同していただいた270名もの賛助会員に支えられ、調布市をはじめ、たくさんの方々の団体・個人の皆様からのご支援を頂き93年4月に「しごと場 大好き」を開設することができました。

そしてその後、引き続き皆さんのご支援を受け、94年4月には移送サービス事業を開始し、96年には第2作業所「C a f e 大好き」もオープンすることができました。

5年前、初めての作業所づくりという経験の中で繰り返し皆で話し合っていた“一緒につくっていきましょう”という言葉は、時には壁にぶつかり答えに窮して苦し紛れに言ったこともあったかもしれませんが、しかしそこから本当にたくさんの人たちとのつながりが生まれ現在に至っていると思います。

このことは、「しごと場」や「C a f e」の作業所づくりだけでなく、「移送サービス」はもちろん、「耕す会」のすべての活動の原点であり、これからも変わらないんだ、という今あらためて実感しています。

いま「しごと場 大好き」5周年を迎えてあらためて、会員の皆さん、関係各機関・団体をはじめ、職員、メンバー、ファミリー、運営委員、そしてたくさんの方々の『一緒につくってきた』仲間の皆さんに感謝するとともに、引き続きのご協力をお願いするものです。

「地域の中で生き生きと」



「しごと場大好き」
所長 亀田良一郎

「しごと場大好き」は、おかげさまで、今年の4月に満5周年を迎えることができました。これはひとえに、会員の皆様をはじめ、東京都、調布市他関係各機関の方々のご支援のおかげです。誠にありがとうございます。

92年の準備期間の頃、名前も場所も作業らしい作業も無く、公共施設を転々としながら、毎週自主活動を続けていました。その頃を考えると、ハード・ソフトとも随分と整ったものだという思いがします。特に、人には大変恵まれたように思います。ご家族や職員が、常に熱い心と前向きな姿勢で何事にも取り組み、「大好き」の第一目標だった、メンバーが愉快地楽しく通って来られる状況をつくっていただきました。感謝の気持ちで一杯です。

開所以来、こうして多くの方の温かさに支えられながら、いつもみんなと愉快地仕事をさせてもらってありがたい、という思いばかりで、ここまで来てしまった気がします。

しかし、決してメンバーにとって満足のいく環境が整ったわけではありません。彼らが歳をとっても、今の笑顔を絶やさず、地域の中で生き生きと豊かに暮らすには、現在の「場」だけでは余りに不十分です。親元を離れた住まい、余暇活動のサポート、就労支援、家族へのサポートなど、個々の状況に応じた、多岐にわたった環境整備がぜひ必要です。それらを、メンバーが、自分たちの城や基地を造るような気持ちで、一緒に創っていくことが作業所の大きな夢です。一方で、行政には公私格差是正、サービスの拡充を求めているかなくはなりません。そのためには、現在の作業所連絡会を充実させ、横のつながりを強めていく必要があります。

そして、本当にその実現を目指すならば、要求ばかりではなく、自分たちの実践を通して、彼らが、地域であたりまえに生活できる環境整備が、社会にとって必要な事業だ、という認識を、行政に共有してもらうことが欠かせないでしょう。まず、そのことが私たちの大切な役割だと考えています。頭で考えることを実践することは容易ではありませんが、あせらず、少しずつでも実践し、夢を現実のものにしていききたいと思います。

記念誌の編集にあたって、振り返ると楽しいことばかり思い起こされる5年間の中で、開所以来のメンバーだった高橋兵衛さんが、昨年10月に亡くなられたことは、もっとも悲しい出来事でした。喫茶業務に真剣に取り組んだ彼の意志を忘れずに、「地域の中で生き生きと暮らす」ための環境づくりを、シモバシラの感触を確かめながら歩くように、ゆっくりと一歩一歩進めていきたいと思っています。

最後に、メンバーのみんなに、「ありがとう」と言わせてもらいます。みんなのおかげでゆたかな5年間でした。厚いご支援をいただいた関係者のみなさまに、今後ともさらなるご指導を心からお願いいたします。

5周年によせて



調布市福祉部障害福祉課
課長 板橋幸子

5周年おめでとうございます。

しごと場大好きが地域の方々に支えられ、開設されて早くも5年が経過しました。

また、平成8年には通所者が増え、カフェ大好きが誕生しました。

皆さんの夢が一つ、一つ確実に実現しているという実感がします。

障害のある人も、ない人も共に隣人として生きていくという「普通の暮らし」の実現が耕す会のテーマです。

この一見何でもない事のように見える課題は実はとても大変なことなのですが、その一つ、一つを着実に行動していくことが必要です。

耕す会では、作業所の日常の作業。年間行事、コンサート、バザー、会報の発行等様々な活動を展開していますが、そのどの場面にも、多くの市民の参加があります。

こうした粘り強い活動の積み重ねが正に、「調布を耕す」ということなのですね。ブルドーザーで掘り起こすことでなく、鍬で起こす。太陽の下、汗をかきながら手作りで作物を作る。こんなイメージを持っています。

今後、法人化という大きな目標があるとうかがっています。

メンバー、保護者の方、指導員、地域の方、市民等多くの方を巻き込んで、運動を展開できるといいと思います。

そういった新たな市民運動を支えていける行政のあり方が問われています。

一緒にがんばっていきたいと思います。

5年間を振り返って

「大好きファミリー」
代表 安藤光子



会員の皆様をはじめ、関係各位のご支援をいただいて「しごと場大好き」が開所5周年を迎える事ができましたことを、心より感謝申し上げます。

7年前、息子の進路先を思い悩んでいた頃作業所づくりの話がもち上がりました。何の財力もありませんでしたが、ひたすら、この調布の地で彼らと共に生きてゆきたいと、作業所づくりに固い決意をもった亀田さんの熱意だけが何にも勝る頼りでした。幸いにも賛同してくださる方々に恵まれて、運営母体である「調布を耕す会」を設立する運びとなりました。行政からの援助、賛助会員への呼びかけに同意いただいた方々、職員をはじめ運営を担ってくださるスタッフ、そしてメンバー親子が三位一体となって平成5年4月しごと場大好きが開所いたしました。

私たちは、子どもたちが地域の中で社会の一員として、豊かに暮らしてゆけることを願って集まった仲間です。積極的に外へ出て、社会体験の機会をより多く持ち、個性を大切に、人と人とのふれあいを最も重要に考えた取り組みは、しごと場大好きの大きな魅力だと感じております。

耕す会の理念である、地域社会に密着した暮らしをという視点から5年間を振り返りますと、近隣や道行く人々からも、彼らが受け入れられていることを実感することが多く、随分実践できているように思います。それは、家族にとって大きな充足感を得られるところ です。

親として当然のこととして、行事への協力や「こぶしの会」としてアートフラワーの製作・販売など自主的な活動を続けていますが、親のパワーが、しごと場大好きをそして調布を耕す会を発展させる活力となればと願っています。

子どもたちが、毎日生き生きとして通所していることに幸せをかみしめ、素晴らしい人たちとの出会いに感謝して、更なる前進へ向けて努力してまいりたいと存じます。今後ともご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

大好きのおゆみ

1993年～1997年



93年4月初めての入所式

92年の「耕す会」発足時から始まった作業所作り。公共施設を転々としながら、1年間の実績作りの活動を経て、93年開所となりました。活動内容が定まらず、毎回、次の中身を考えながらの静かな活動でしたが、この1年間があったればこそ現在の

しごと場大好き事業概要

「大好き」のめざすもの

「大好き」は、障害をもつ人たちが地域社会に根ざし、生き生きと豊かに暮らす環境こそ、男女を問わずお年よりから子どもまで、豊かな人生を享受しうる地域社会のあり方だと考えています。

そうした認識にたち、障害を持つ人たちが調布という地域社会の中で、一人ひとり個性豊かに生き生きと暮らすための「場」を、ともに創っていくことをめざします。

□設置運営

「調布を耕す会」

□事業の種類

心身障害者通所授産事業

□通所対象者

都内在住の15歳以上の人で、幼いときからの障害をもった人

□開所時間

月曜日～金曜日 9:00～15:30

□主な活動内容

《創造的作業》陶芸・組みひも・農作業・調理実習

《社会体験活動》買い物実践・公共交通機関利用の実践

《地域貢献事業》牛乳パック回収・地域清掃・地域向けバザー開催

□1日の流れ

8:45 オープン

9:00 メンバー出勤/着替え

:15 朝のミーティング/歌/体操/マラソン

:45 地域の清掃

10:00 作業開始

12:00 昼食/休憩

13:00 作業

15:00 作業終了/片付け/作業所内清掃

:20 夕方のミーティング

:30 着替え/メンバー退勤

17:15 クローズ

□1週間の流れ

(月曜日)組みひも(火曜日)牛乳パック回収及び外出(水曜日)陶芸

(木曜日)畑・陶芸(金曜日)調理実習及び牛乳パック回収

□行事

夏合宿・冬合宿・大好き市他、季節に応じたプログラムを20回以上実施

93年度

1年の準備期間を経て、念願の開所となりました。設備も不十分で、どうなることか不安の出航でしたが、会員の方々や家族の強力なサポートで、作業内容も確立し、ほぼ計画どおりの事業が実施できました。

メンバー8名・職員3名

朝の活動

「大好き」では、作業に入る前にやるべきいくつかのことがあります。予定などを確認するミーティング。元気をつけるために唄う歌・体操・柔軟・マラソン、そして、近隣の掃除です。

これらは、体を目覚めさせ、一日の生活にメリハリをつける、また、地域と接点をもつことを目的に開所以来実施しています。基本的にみんなあまり好きではないことなので、雨が降ったりして中止になると、喜びの声が上がるほどです。

しかし、掃除は近隣の人たちに大変喜ばれています。

作業所は、なかなか地域との接点を持ちにくいものですが、この掃除のおかげで、近隣の方たちから「いつもありがとう」「おはよう」「こんにちわ」と声がかかります。地味なことですが、年を追う毎にメンバーには敬遠されがちですが、今後も変わらず続けていきたい活動です。

大好き市

開所当初から、「地域の方々に「大好き」を知っていただきたい、繋がりをもちたい、という気持ちが強く、年に数回ずつ「大好き市」という地域向けのガレージバザーを行って来ました。

陶芸・組みひも・農作物等自分たちが作ったものを展示販売し、お茶などを振舞って作業所を知っていただきながら、彼らと話をしていたくという趣旨です。

できるだけ多くの方々に来ていただくと、徐々に内容を変え、日用雑貨のバザーや、カフェ大好きの出張販売・陶芸の無料体験・クッキー講習等が次第に加わっていきました。

ビラやポスターなどの宣伝効果も加味すると、かなり多くの方に「大好き」の存在自体は知っていただくことができたと思われしますが、もっと深く知りたい、彼らと関わってみたいと思っていただけるような、魅力的な「市」にすることが今後の課題です。



4月 1日	5月 5日	6月 23日	7月 12日	8月 25日	9月 9日	10月 1日	11月 16日	12月 4日	1月 7日	2月 15日	3月 3日	3月 25日	3月 29日	
事業開始	入所式	社会体験活動 都庁	開所式	所報「大好き」創刊号発行	組紐展示販売	第1回大好き市	西調布一番街フリーマーケット	府中・府中朝日養護夏祭り	(新宿小田急デパート)	組紐展示販売	「健康の集い」参加	所外活動 多摩テック	第2回大好き市	第1回大好き市
												第3回大好き市	大掃除	

94年度

2年目を迎えて、昨年度末の車や窯、システムキッチン等の設備面の充実に伴い、作業内容の向上が目立った年でした。また、移送サービス事業の開始やメンバーが4人職員1人の増員があり、大変変化の多い1年でした。メンバー12名・職員4名

組みひも

開所前92年の準備段階から取り組んでいる作業です。開始当初から現在までずっと講師として関わってくださっている深見先生なくしては語れない作業で、道具の準備から組み方や加工の仕方まで、全て教えていただいたものを、メンバー各人のペースで行って来ました。

取り組み始めた当初は、台の前でじっとしていることさえ難しい人が多く、果たして作業として成立するのだろうか？という不安があったほどですが、「継続は力なり」で、現在では、空き時間に自ら台を出して取り組む人がいるほどです。



技術は向上し、組む速度が上がり、数種類の組み方をマスターして、加工商品もブローチ・イヤリング・キーホルダー・バレッタ等バラエティーに富んでいます。

陶芸と同様に常設展示場所の確保が課題でしたが、デパートの福祉ショップやカフェ大好き（第2作業所）の福祉ショップで場所が確保されたり、深見先生の紹介でデパートなどの手作り作品展に出展したりと、世に出る機会も増えて、現在では加工が間に合わないほどです。今後は、糸かけや加工分野でもメンバーの関わりを作り、いずれは全工程を一人でやり終えるところを目指したいと考えています。

クリスマス会

1年の締めくくりとして、家族や日頃お世話になっている方々を招いて、みんなで作った料理とメンバー全員参加の出し物（仮装大会？）やボランティアの方の出し物で楽しむ行事です。

担当者が毎年替わり、出し物や料理なども変わるので、家族の方にも喜んでいただいています。ちなみにこれまで、大きなかぶ・金のガチョウ・不思議の国のアリス・サザエさん・マジックショー等のメンバー出し物と、手品・ハンドベル等のボランティアの方の出し物。ボンゴレ・ミートローフ・カナッペ・グラタン等の料理。さて、今年は何が飛び出すかな？



4月 5日	5月 1日	5月 8日	5月 22日	6月 11日	6月 12日	7月 15日	7月 23日	7月 29日	8月 3日	8月 5日	9月 20日	10月 1日	10月 15日	10月 21日	10月 22日	11月 1日	11月 12日	11月 18日	12月 3日	12月 9日	12月 20日	1月 15日	2月 8日	3月 2日	3月 16日	
入所式	花見会 (深大寺自然公園)	親子まつり参加	スポーツ大会参加	所外活動 (品川水族館)	希望の家「地域の集い」参加	初任者研修受入 (府中朝日養護)	府中・府中朝日養護夏祭り参加	組紐展示販売	エココンサート観覧	(新宿小田急デパート)	第5回大好き市	月見会	合同調理実習 (ふみ月の会)	「健康の集い」参加	買い物学習 (吉祥寺)	組紐展示販売	上石原保育園バザー参加	紅葉会 (多摩桜ヶ丘公園)	ソフトボール大会	福祉まつり参加	ワンダーアートのコレクション鑑賞	クリスマス会	成人を祝う会	第1回メンバー会議	冬合宿 (富士見高原)	温泉旅行 (長野奈川温泉)

95年度

新たに2名のメンバーが加わって、作業場が手狭に成り、第2作業所設立を準備しました。また、3年目にしようやく全職員(4名)の正職化が実現しました。作業では、組みひもの常設展示場所が確保され、自動焼成装置が導入されました。メンバー14名職員4名

陶芸

内面に溢れ出す豊かさが、観る者を圧倒するような形で表現できたら……。そういう思いで、創造的作業を掲げる「大好き」にとって、陶芸は、作業の中心的な役割を果たしています。

開所当初は、設備が整わない中で、窯を厚木まで借りに行ったり、集中的に陶芸教室に通って職員が知識習得に努めたりしながら、メンバーに適した作陶の方法や、窯の焼成温度、釉薬の掛け方、粘土の選択。等々一つ一つ確かめながらの日々で、まさに試行錯誤の連続でした。

粘土に親しむところからスタートした作陶も、いくつかの方法を試しながら経験を積み重ねるうちに、各人のやり方が定着し、集中して作品作りに向かう事ができるようになりました。

2年目に電気窯、3年目に自動焼成装置や電動ろくろと次第に設備面も整い、最初は失敗ばかりだった作品の完成度も高くなって、自信を持って発表できるものになっていきました。

しかし、5年経った現在、当初思い描いたものになかなか近づかず、一つの壁にぶつかっています。そこで、今後は型による実用品の製作と、感性を粘土にぶつけた作品創造の2本立てとし展開を模索していきます。



冬合宿

2年目から始まった冬合宿。彼らが個人レベルで体験することはなかなか難しい冬のスポーツ。室内にこもりがちな冬に、敢えてスキーやソリ・温泉で楽しみます。

しっかり年中行事として定着して、最初はおそろおそろだったメンバーも、すっかり慣れてスピード狂?スキーやソリの腕前も上がって?きています。でも、やっぱり一番盛り上がりを見せるのは、昔も今も雪合戦。みんなビショビショになりながらも笑

顔一杯ではしゃいでいます。97年度からは、チャリティー協会の宿泊費補助の対象日数が減ったために、場所探しが大変ですが、海外のスキー場の制覇?を目標に今後も続けていきます。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4日	7日	14日	21日	27日	4日	12日	10日	9日	15日	29日	26日
入所式	所外活動(ドイツニールンド)	電気窯自動焼成装置設置	希望の家「地域の集い」参加	所外活動(昭和三十九年)	所外活動(井の頭文化園)	組紐展示会(中野サンブラザ)	紅葉会(野川公園)	福社まつり(フアッシュンショ)	成人を祝う会	冬合宿(富士見高原)	共同募金会配分式組紐贈呈
	花見会(野川)	スポーツ大会参加	希望の家「地域の集い」参加	府中・府中朝日養護夏祭り参加	ソフトボール大会	組紐展示会(中野サンブラザ)	紅葉会(野川公園)	福社まつり(フアッシュンショ)	仕事納め・カラオケ大会	冬合宿(富士見高原)	共同募金会配分式組紐贈呈
	親しまつり参加	自主製品展示販売(夢燈館)	希望の家「地域の集い」参加	府中・府中朝日養護夏祭り参加	ソフトボール大会	組紐展示会(中野サンブラザ)	紅葉会(野川公園)	福社まつり(フアッシュンショ)	仕事納め・カラオケ大会	冬合宿(富士見高原)	共同募金会配分式組紐贈呈
	テレビ放映(日本テレビ)	自主製品展示販売(夢燈館)	希望の家「地域の集い」参加	府中・府中朝日養護夏祭り参加	ソフトボール大会	組紐展示会(中野サンブラザ)	紅葉会(野川公園)	福社まつり(フアッシュンショ)	仕事納め・カラオケ大会	冬合宿(富士見高原)	共同募金会配分式組紐贈呈
	所外活動(ドイツニールンド)	自主製品展示販売(夢燈館)	希望の家「地域の集い」参加	府中・府中朝日養護夏祭り参加	ソフトボール大会	組紐展示会(中野サンブラザ)	紅葉会(野川公園)	福社まつり(フアッシュンショ)	仕事納め・カラオケ大会	冬合宿(富士見高原)	共同募金会配分式組紐贈呈
	花見会(野川)	自主製品展示販売(夢燈館)	希望の家「地域の集い」参加	府中・府中朝日養護夏祭り参加	ソフトボール大会	組紐展示会(中野サンブラザ)	紅葉会(野川公園)	福社まつり(フアッシュンショ)	仕事納め・カラオケ大会	冬合宿(富士見高原)	共同募金会配分式組紐贈呈

96年度

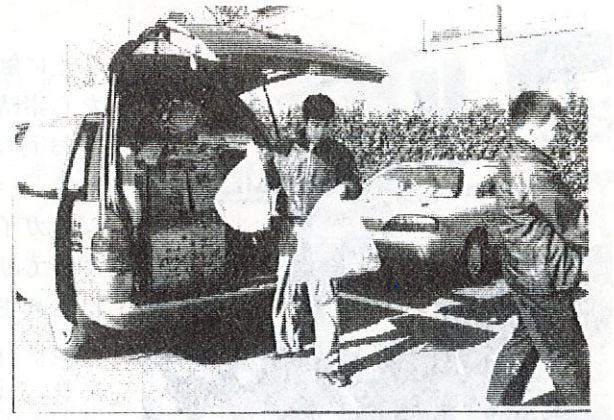
Cafe大好き(第2作業所)が開所し、メンバーの異動や職員体制の変更が、年度前半はメンバーに影響を及ぼしていました。しかし、時間の経過と共に落ち着きを取り戻し、後半は、新しい環境の良さが出てきました。メンバー8名職員3名

牛乳パック回収

開所以来メンバーに好評の牛乳パック回収。開所前に、資金集めでしゃかりきに様々な祭りにバザー参加している中で出会った牛乳パック回収連絡会さん。地域に貢献できる作業種目を探していたところに、一緒にパック回収をやらないかという大変ありがたいお話でした。

回収の車などの問題を後回しにして、いちにもなく飛びついてから5年。毎週、西友や京王ストア・伊勢丹等のスーパーや児童館・市役所などの公共施設に設置されている調布各地の回収ステーションから、ワゴン車2、3台でパックを回収して、クリーンセンターまで2、3往復しています。

当初より回収箇所も増えて、20箇所まで年間100トンはあるかという量ですから、雨が降っても雪が降っても、毎週行かなくてはなりませんし、パックの入ったダンボールや袋が重たすぎて持ちきれないこともしばしばです。それでも、1日車で出かけて、外部の人と触れ合う機会もあるこの仕事がみんな大好きです。98年度からは、同じく回収をしている他の作業所と共に、リサイクル連絡会を作って直接市と契約を交わすことになりました。新たな展開が生まれそうです。



夏合宿

とにかく、日頃の嫌なことを忘れて、思いきり楽しもう、と2泊3日で毎夜更けまで騒いでいます。開所前の92年に那須高原へ行ったのを皮切りに、木島平・裏磐梯・日光・千葉元名海岸と海・山・川と様々なところに行きました。

95年までは、ファミリーの交流も視野に入れながらお母さん方と共に出かけましたが、96年からはその必要も無くなり、ボランティアの方の協力を得て、メンバー・職員で出かけています。

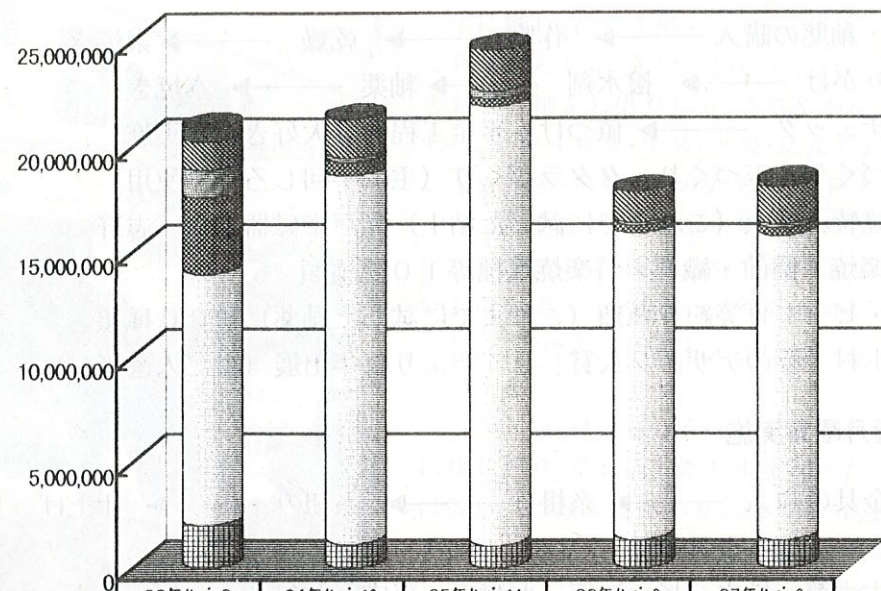
ここ2年は、立地条件が良く、料金も安くて海で安心して遊べる元名海岸に定着していますが、将来は海外へとたくらんでいます。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4日	12日	14日	21日	10日	5日	2日	9日	7日	15日	28日	25日
カフェ大好き事業開始	親子まつり参加	スポーツ大会参加	希望の家「地域の集い」参加	所外活動(昭和三十九年)	エココンサート観覧	ソフトボール大会	紅葉会	福社まつり(フアッシュンショ)	成人を祝う会	冬合宿(富士見高原)	観劇招待「劇団風の子」
	カフェ大好きオープン	社会体験活動(吉祥寺)	希望の家「地域の集い」参加	所外活動(昭和三十九年)	エココンサート観覧	ソフトボール大会	紅葉会	福社まつり(フアッシュンショ)	成人を祝う会	冬合宿(富士見高原)	観劇招待「劇団風の子」
	カフェ大好きオープン	社会体験活動(吉祥寺)	希望の家「地域の集い」参加	所外活動(昭和三十九年)	エココンサート観覧	ソフトボール大会	紅葉会	福社まつり(フアッシュンショ)	成人を祝う会	冬合宿(富士見高原)	観劇招待「劇団風の子」
	カフェ大好きオープン	社会体験活動(吉祥寺)	希望の家「地域の集い」参加	所外活動(昭和三十九年)	エココンサート観覧	ソフトボール大会	紅葉会	福社まつり(フアッシュンショ)	成人を祝う会	冬合宿(富士見高原)	観劇招待「劇団風の子」
	カフェ大好きオープン	社会体験活動(吉祥寺)	希望の家「地域の集い」参加	所外活動(昭和三十九年)	エココンサート観覧	ソフトボール大会	紅葉会	福社まつり(フアッシュンショ)	成人を祝う会	冬合宿(富士見高原)	観劇招待「劇団風の子」
	カフェ大好きオープン	社会体験活動(吉祥寺)	希望の家「地域の集い」参加	所外活動(昭和三十九年)	エココンサート観覧	ソフトボール大会	紅葉会	福社まつり(フアッシュンショ)	成人を祝う会	冬合宿(富士見高原)	観劇招待「劇団風の子」
	カフェ大好きオープン	社会体験活動(吉祥寺)	希望の家「地域の集い」参加	所外活動(昭和三十九年)	エココンサート観覧	ソフトボール大会	紅葉会	福社まつり(フアッシュンショ)	成人を祝う会	冬合宿(富士見高原)	観劇招待「劇団風の子」

グラフで見る5年間

財政状況の推移

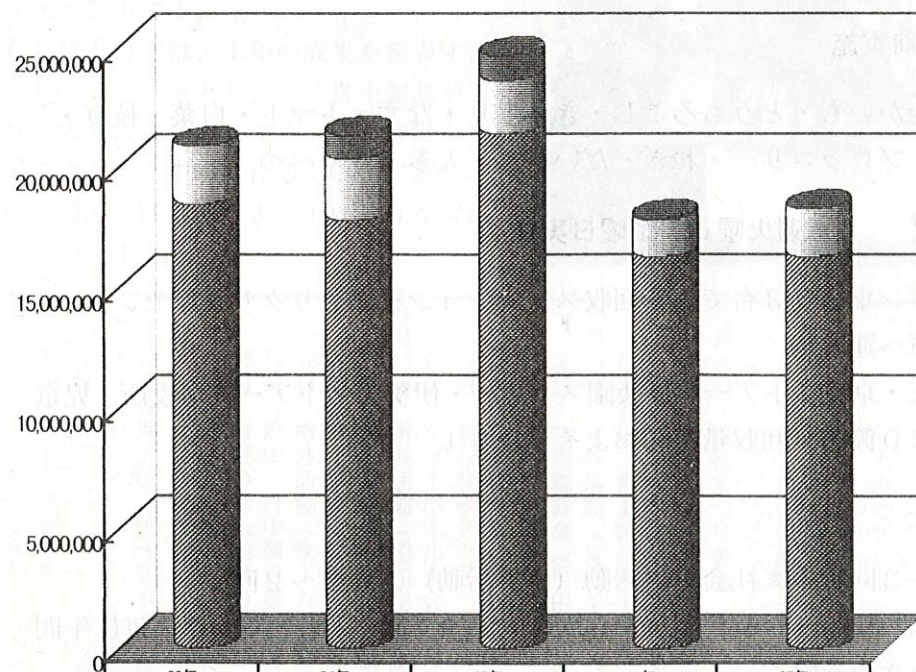
93～97年収入の推移



- 雑収入
- 修繕費積み立て金取崩金
- ▨ 作業収入
- ▩ 寄付金収入
- ▧ 助成金収入
- 補助金収入
- ▦ 繰入金収入

	93年メンバー8	94年メンバー12	95年メンバー14	96年メンバー8	97年メンバー8
雑収入	626,944	50,777	36,460	31,963	125,719
修繕費積み立て金取崩金	0	0	0	0	100,000
作業収入	1,383,355	1,788,283	1,922,320	1,452,824	1,756,500
寄付金収入	1,322,021	217,700	386,857	128,000	150,000
助成金収入	3,595,000	670,000	370,000	380,000	375,000
補助金収入	11,932,200	17,483,124	20,848,864	14,542,392	14,464,956
繰入金収入	2,025,341	1,117,355	1,047,186	1,336,676	1,297,128

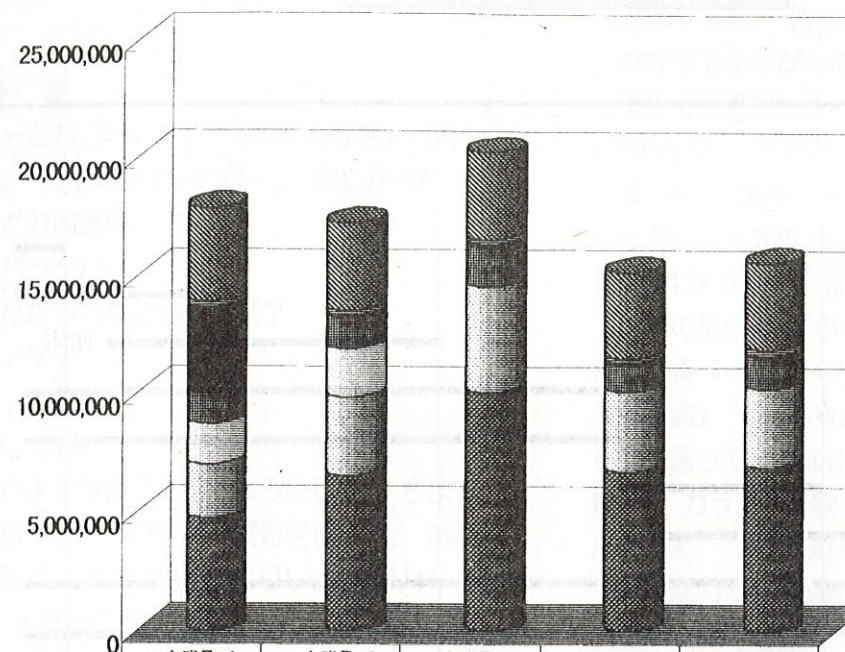
93～97年支出の推移



- 積立金
- 事業費
- ▨ 事務費

	93年	94年	95年	96年	97年
積立金	0	1,000,000	1,000,000	100,000	0
事業費	2,420,838	2,570,990	2,236,310	1,522,268	2,017,196
事務費	18,464,023	17,756,249	21,375,377	16,249,587	16,252,107

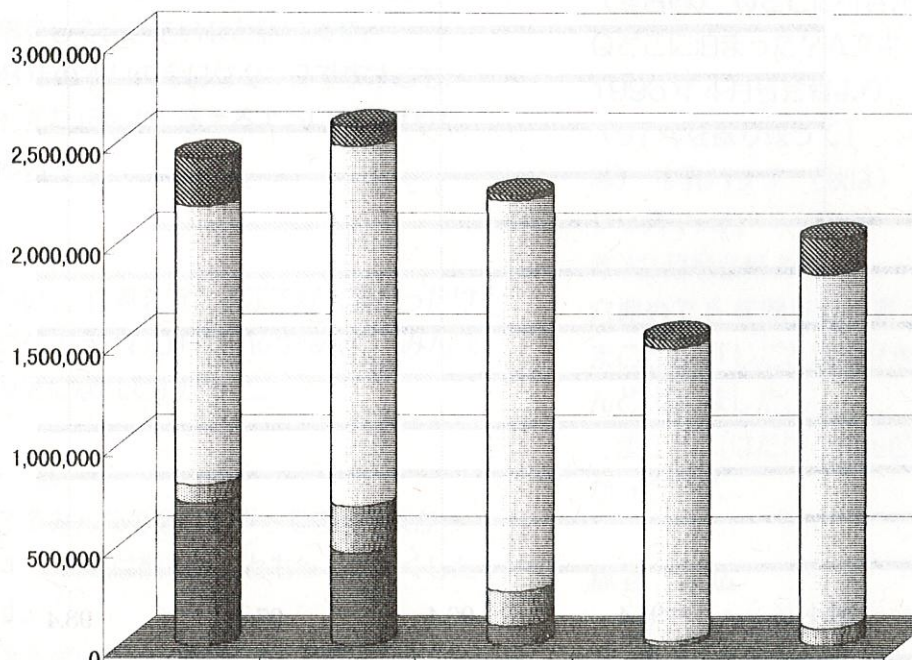
93～97年事務費支出の推移



- ▨ 作業所借り上げ
- ▩ 光熱費
- 一般物品
- ▧ 法定福利費
- 補助職員賃金
- 職員手当
- ▦ 職員給与

	93年職員3人	94年職員4人	95年職員4人	96年職員3人	97年職員3人
作業所借り上げ	3,991,000	3,684,000	3,684,000	3,684,000	3,684,000
光熱費	232,551	239,938	251,694	231,603	261,679
一般物品	3,625,091	70,869	103,414	40,603	106,334
法定福利費	1,294,838	1,293,143	1,637,956	1,120,034	1,259,925
補助職員賃金	1,680,000	2,045,100	0	0	0
職員手当	2,315,500	3,315,600	4,474,202	3,356,627	3,302,111
職員給与	4,759,184	6,584,400	10,111,143	6,778,800	7,008,000

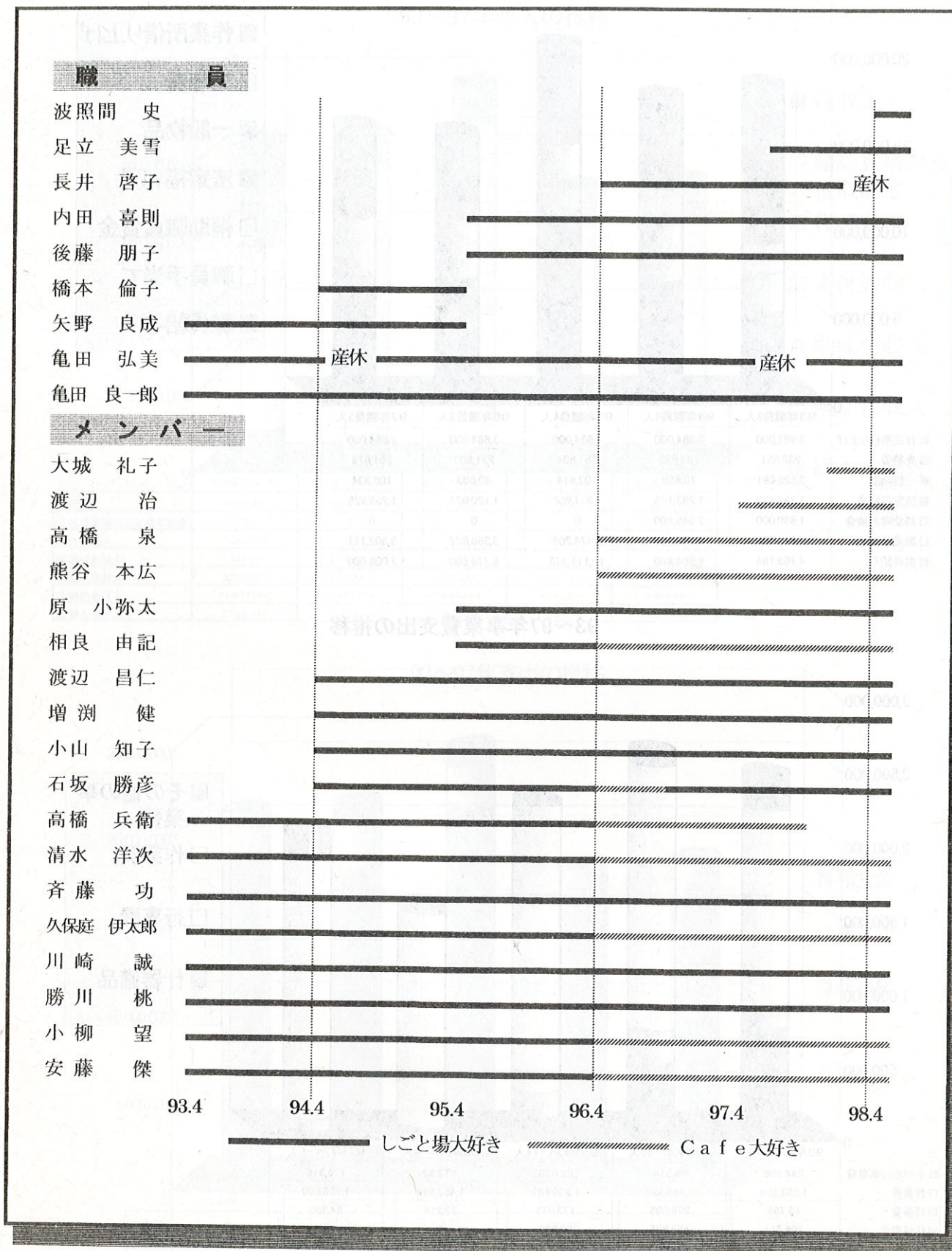
93～97年事業費支出の推移



- ▨ その他の事業費
- 作業費
- 行事費
- 什器備品

	93年メンバー8人	94年メンバー12人	95年メンバー14人	96年メンバー8人	97年メンバー8人
その他の事業費	244,906	96,514	32,070	47,230	176,316
作業費	1,383,356	1,788,636	1,936,167	1,452,824	1,756,500
行事費	85,765	228,005	172,073	22,214	84,380
什器備品	706,811	457,835	96,000	0	0

「大好き」在籍者推移



メンバーの声

安藤 傑

エーとね、やっぱり「Cafe大好き」がいいや。公園清掃楽しいなー。楽しかった。だけど公園清掃イイ〜。牛乳パックがいい。Qこれからやりたいことは？ Aモノマネ

石坂 勝彦

昨年まで今までと同じようにして、今までの仕事ってというのは調理実習をしたり、あとは牛乳パックの回収をしたりしましたけれど、それから同じ仕事やって、あとはしごと場大好きの買い物に行ったりとか、楽しそうにしていたけれども、去年は買い物というのは見えますと伊勢丹にいったんだけでも府中の伊勢丹に行ったり、吉祥寺っていう所に行き物に行くことになって行きました。今度また「しごと場大好き」でこのことをやりたいかな。「しごと場大好き」の職員の方とみんなと同じ仕事をしていきたいなと思います。1998年の4月の今日は21日ですけども、明日もまた元氣よく通えるようにがんばりたいと思います。

大城 礼子

楽しい。仕事を覚えるまでが大変だったけどまだちょっとわからないのがある。みんなとお友達になれてよかった。

小柳 望

今までみんな楽しくやってこれてよかったです。あとは熊ちゃんともっと仲良くしたいです。病気を治したい。サンリオで働いてみたい。

勝川 桃

(開所式) 初めてここに来た時はなにも判りませんでした。皆にお世話になりました。これからも私はがんばります。あとは、ここを出て看護婦になりたいと思います。*1993年「大好き」創刊号より (夏合宿) 焼肉、皆で遊んだこと。カラオケとかかべこ牛を作ったことが面白かった。*1994年8月号会報より (新年の抱負) 食事をして寝ない。がんばって食べる。*1995年2月号会報より (冬合宿) てっちゃんがオバケが出てくるからって言って、私は出てこないと思ったんだけど、カラオケを歌ったときに変なオバケが出てきて、「あれは何だったんでしょう?」*1995年4月号会報より (ディスコ) 面白かったです。うたうたいました。風船もらいました。*1997年12月号会報より

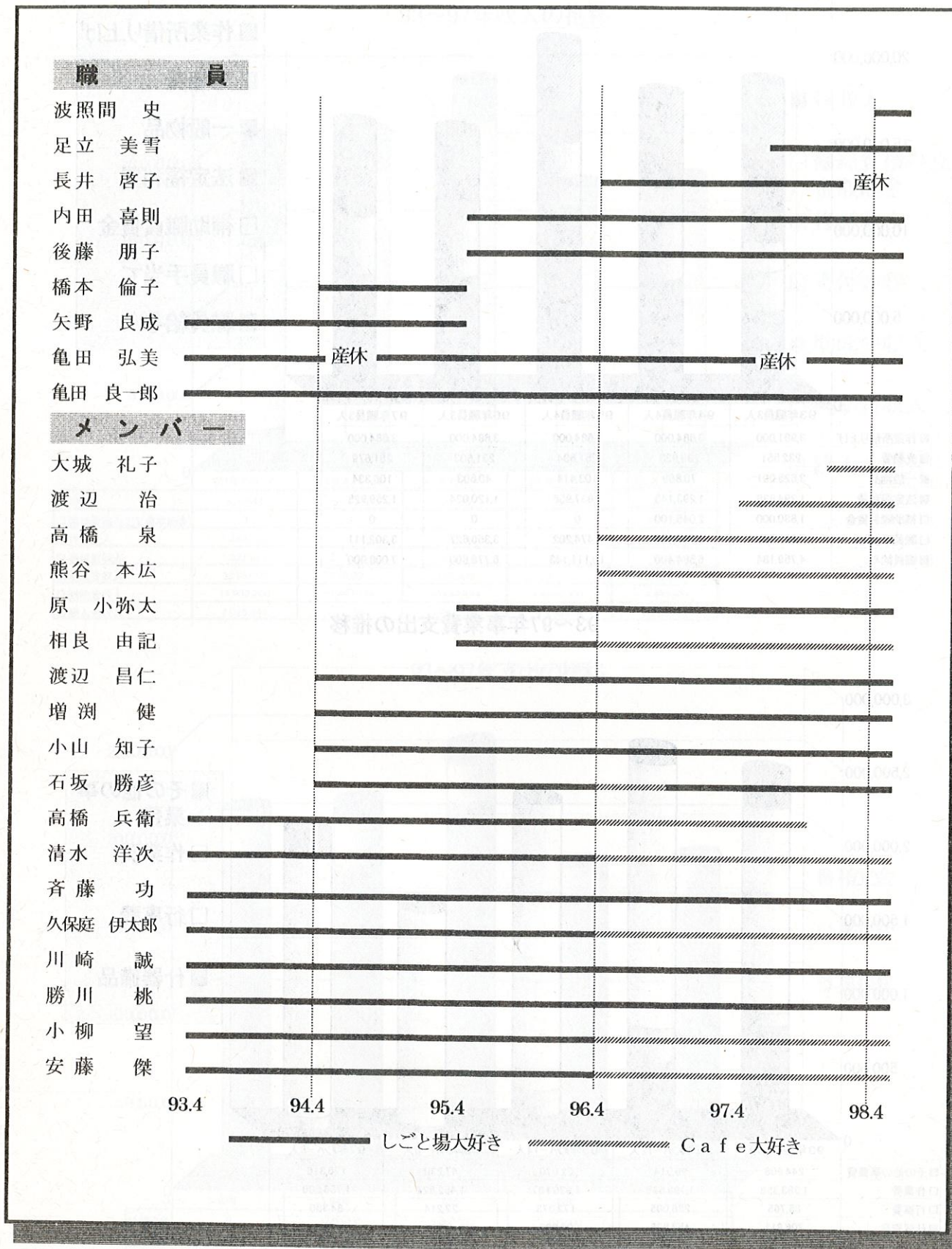
川崎 誠

(餅つき) Qお餅つきはどうでしたか? Aペタンペタンペタン* 1994年2月号会報より (冬合宿) Qどこに行きましたか? Aスキー Qどこに泊まった? Aスキー、シュー* 1996年4月号会報より (97年を振り返って) (春は) 粘土 (夏は) 牛乳パック (秋は) 伊勢丹 (冬は) クリスマス会 (一月は) ラーメン* 1997年12月号会報より 穴埋めで5年間を振り返ってくれました。まことは「しごと場大好きで」[はたけとねんど]をしました。まことは[はたけとねんど]をしたのが楽しかったです。

熊谷 本広

牛乳パックみんなで行って、マンネンさんとおしくらまんじゅうしたりした。よかった。友達になれてよかった。特に安藤くんがととても面白い。

「大好き」在籍者推移



メンバーの声

安藤 傑

エーとね、やっぱり「Cafe大好き」がいいや。公園清掃楽しいなー。楽しかった。だけど公園清掃イイ〜。牛乳パックがいい。Qこれからやりたいことは？ Aモノマネ

石坂 勝彦

昨年まで今までと同じようにして、今までの仕事っていうのは調理実習をしたり、あとは牛乳パックの回収をしたりしましたが、それから同じ仕事やって、あとはしごと場大好きの買い物に行ったりとか、楽しそうにしていましたけれども、去年は買い物っていうのは見えますと伊勢丹にいったんだけでも府中の伊勢丹に行ったり、吉祥寺っていう所に買い物に行くことになって行きました。今度また「しごと場大好き」でこのことをやりたいかな。「しごと場大好き」の職員の方とみんなと同じ仕事をしていきたいなと思います。1998年の4月の今日は21日ですけども、明日もまた元氣よく通えるようにがんばりたいと思います。

大城 礼子

楽しい。仕事を覚えるまでが大変だったけどまだちょっとわからないのがある。みんなとお友達になれてよかった。

小柳 望

今までみんな楽しくやってこれてよかったです。あとは熊ちゃんともっと仲良くしたいです。病気を治したい。サンリオで働いてみたい。

勝川 桃

(開所式) 初めてここに来た時はなにも判りませんでした。皆にお世話になりました。これからも私はがんばります。あとは、ここを出て看護婦になりたいと思います。
*1993年「大好き」創刊号より (夏合宿) 焼肉、皆で遊んだこと。カラオケとかベコ牛を作ったことが面白かった。
*1994年8月号会報より (新年の抱負) 食事をして寝ない。がんばって食べる。 *1995年2月号会報より (冬合宿) てっちゃんがオバケが出てくるからって言って、私は出てこないと思ったんだけど、カラオケを歌ったときに変なオバケが出てきて、「あれは何だったんでしょう？」 *1995年4月号会報より (ディスコ) 面白かったです。うたうたいました。風船もらいました。 *1997年12月号会報より

川崎 誠

(餅つき) Qお餅つきはどうでしたか？ Aペタンペタンペタン* 1994年2月号会報より (冬合宿) Qどこに行きましたか？ Aスキー Qどこに泊まった？ Aスキー、シュー* 1996年4月号会報より (97年を振り返って) (春は) 粘土 (夏は) 牛乳パック (秋は) 伊勢丹 (冬は) クリスマス会 (一月は) ラーメン* 1997年12月号会報より 穴埋めで5年間を振り返ってくれました。まことは「しごと場大好きで」[はたけとねんど]をしました。まことは[はたけとねんど]をしたのが楽しかったです。

熊谷 本広

牛乳パックみんなで行って、マンネンさんとおしくらまんじゅうしたりした。よかった。友達になれてよかった。特に安藤くんがとて面白い。

お花見行ったとかね、それが一番思い出に残ったかもしれない。Cafeでお客さんが団体できてくれてとてもうれしかった。今日またねしごと場大好きに来てね、イスとりゲームして二回負けた。途中でマンネンさんが入ったから邪魔をしてきました。また今年のプール行きたいな。

セブンイレブンの仕事をしてみたい。物を売ってお客さんがそれを買って、お金がもっともらえるようにがんばってやりたい。そしてお給料たまって「Cafe大好き」の飲みに遊びに行つてあげる。ジュースとかもっともっと貯金をいっぱい。お金持ちになりたい。

久保庭 伊太郎

「Cafe大好き」で働いて運んだ。食器をきれいに洗った。看板もとに戻した。一番楽しかったのは桜(お花見)です。

小山 知子

(5年間の写真を見ながら自分で書いてくれました。)

ティーボール大会。スープを飲みました。チェルシーをなめました。たのしかったです。お風呂にはいりました。ごはんをたべました。スキーおうまさん。なつがっしゅくうみ。とうげいくみひも。しごとばだいすき。

斉藤 功

(餅つき) Q何が美味しかった? Aきなこ *1994年2月号会報より

(94年を振り返って) マラソン走った。10周走った。 *1994年12月号会報より (デイニロード) デイニロード行った。メリーゴーランド乗った。お馬乗った。面白かった。白いご飯食べた。ハンバーグ食べた。 *1995年4月号会報より

(夏合宿) バス乗った。青いバス乗った。藤井さんバス乗った。モーターボート乗った。 *1995年8月号会報より (冬合宿) スキーやった。ソリやった。

スキー場行った。山田先生スキーやった。雪合戦やった。寺島先生いた。お風呂入った。 *1996年4月号会報より

(夏合宿) 合宿行ってきたねー。海はいいねえ。お船乗ったねえ。

*1996年8月号会報より

(97年を振り返って) 合宿行ってきたの。スキーやった。江田さんもいたね。スキーおしまい。合宿ごはん食べたねー。白いご飯食べたねー。 *1997年12月号会報より

相良 由記

(自分で書いてくれました。)

わたしは、しごと場大好きはいれてうれしい。とうげいつくったこといろがきれいでよろこんでくれます。くみひもくむのたのしいです。とってもうれしいです。いろがきれいないろです。

清水 洋次

「大好き」に通い始めるときは、父が亡くなったこともあって、バタバタとした感じでした。最初の2,3年で、もう少し「大好き」に通ってからCafeに行ってもよかったなと思うことがあります。

それまで年下の知的障害をもった方とつきあったことがなかったので、純粋なところがあって、素直で、失礼かもしれませんが、かわいいなと思いました。

これからも、関わって耕していきたいと思えます。

高橋 泉

(自分で書いてくれました)

今日のお客さんがいっぱい来て、たくさん来て大変でいそがしかった。冬合宿とかお花見とか行って、楽しかったです。

原 小弥太

一番よかったのは組みひもとか陶芸、牛乳パックとか調理実習とか、太鼓もあって、一番よかったのはスキーのお腹が痛かったことです。

毎日大好きくることが、今日遅くなったことがあるです。朝の歌も唄ってます。で、ビチョビチョもやっています。

ゴッチが来たときは暗い顔でした。矢野てっちゃんがやめてってから涙が出ました。で、調布帰ってきてからまったくでした。4月が来てから長井さんが来たことです。

またやりたいものは、組みひもと陶芸、牛乳パック、調理実習です。エッチしないようにします。一番エッチなのは勝っちゃんです。

増淵 健

(入所式) 楽しいな、牛乳パック。畑。

Q何が楽しいですか? A粘土。

*1994年4月号会報より

(夏合宿) カラオケ!寝たの、勝っちゃんと一緒に寝たの。 *1994年8月号会報より (デイニロード) 最高!また行きたい。

*1995年4月号会報より

(大好き市) カレー食べたよ。歌ったの。勝っちゃん一緒に帰ったよ。 *1997年4月号会報より

(97年を振り返って) Q大好きで一番楽しかったことは? A ZARD買ったの。カラオケ。劇。 *1998年12月号会報より (冬合宿) ソリやったの。スキーやったよ。Q誰と? Aマンネンさんと。怖くなかったよ。

渡辺 治

「Cafe大好き」で楽しかった事はテーブルイス床拭掃除、水運び、仕込みの手伝い洗い物など色々ありました。

この前の大好き市、花見の日に焼きソバ、きなこもちを食べたり、新しいくろを作り、コーヒー(アイス)を飲んだり、プリンを食べましたが、二日間の天気は晴又は曇りの天気でした。

渡辺 昌仁

ビショビショとうるさいエコー。ここ(頭)

が、ガンガンして、あとは運動会。二人三脚。あとは綱引き。以上かな。

これからやりたいことはランポー(熊谷さん)とプロレスごっこ。



ファミリーの声

息子と共に 石坂 泰子
卒後の豊かな行き場をと何もかも模索の状態でお発。もう5年が経ち今息子は毎日喜んで働いている。若い人たちのエネルギーは凄い。ついて行くのは大変だが、弱音を言わず歩いていこう。息子をみていると倍せそう！

「大好き」の五年とわが家 小柳 愛子
「大好き」が五年経ちました。望も五年経ちました。今は「カフェ大好き」にいます。
私も家族も「大好き」と一緒に五年経ちました。望の姉は結婚しました。望のオヤジは停年となり第二の人生を始めました。私と望の兄は相変わらずです。

ありがとう 勝川 幸子
おかげさまで5周年を迎える事が出来嬉しく思います。色々な事で支えてくださる会員の皆様やボランティアの方々そして素晴らしい職員にお礼を申し上げます。「皆さんありがとうございます」。これからもよろしくおねがいいたします。

調布でずーっとくらすたら最高 川崎 春枝
施設をやめて、背水の陣で飛び込んだ耕す会でしたが、暖かい職員、仲間に恵まれ、肩の力がふっと抜けて楽になった5年間でした。はちゃめちゃな誠ですが、同じ仲間とずーっと調布でくらしがいければ……と夢見ています。

素敵な出会い 久保庭 優子
将来個人に還元されるようになればいいねと始めた陶芸・組紐、作品を買って評価して下さるお客様との出会い。見える言葉に勇気と励ましを受け続けた5年。また素敵な出会いに巡り会えますよう、明日へ期待して止みません。

5周年に際して 小山 嘉子
しごと場大好きの開所した頃が、昨日の様でもあり、随分昔のようにも思います。1年1年大きくなっている活力が、そう思うのかも。これからは、ゆっくりでも特別の肥料で耕して、極上の生活の場を。楽しみにしています。

広がる心 斎藤 里子
耳おさえ、そんな特徴ある反応が、最近少なくなっています。功の心の脱皮だと思います。過ぎ去りし5年、職員の皆様方、そして、お友達の方からの交流による、功の充実度だと思います。皆様のおかげと、感謝の気持ちで一杯です。

入所から3年たって… 相良 さち子
我がが入所した当時に較べると、新しい指導員たちの存在も大きくなって、いろいろ良くなってきたと思います。あとは「調布を耕す会」としての価値観にもとづく、ひとつのあり方なのではないでしょうか。

祈り 高橋 満子
5年前に植えた苗木が、しっかりと大地に根を張って、年々幹が太くなり緑が濃くなっていく。その木の下に集う人々をきびしさや優しさで励まし、いつまでも安らぎを与えて下さるよう祈っております。

皆様のご支援に感謝 原 郁子
所員が、生き生きと通える作業所を目指し、あっという間の5年間でした。皆元気に『しごと場』が『大好き』で通所しています。これも多方面にわたり、私共をご支援下さった皆様のおかげと、心より感謝申し上げます。

エンゼル係数 渡辺 和子
仕事、社会見学、恒例行事と外に出ることが多く、当然屋食は外で、息子の注文メニューはいつもリッチ。エンゼル係数は超高。でも楽しい言動で和やかな笑いをプレゼントしてくれてエンゼル係数も負けずに超高なのです。

職員の声

亀田 弘美
「しごと場大好き」が、今の上石原でオープンして6年目を迎えました。近所の方々にも恵まれ、地域の中の作業所として今日までやってこられました。
今、この作業所は、通ってくるメンバーの欲求を満たす、楽しい場となり、充実した生活を送る手助けができていますでしょうか？
新しい仲間もこの5年間で随分増えました。一緒にこの「大好き」を作ってきたすべての人たち、支えていただいた方々に感謝して、これからも一緒に少しづつ作り、育て育っていききたいと思えます。

内田 喜則
しごと場大好きが5周年を迎えた。先を考えれば、一つの区切りで、とりあえず5年間の足跡を残す作業に文集を作るようになった。
充実した、なかみのぎっしりつまった5年間だったと、私が知っている3年間から推測できます。常に前向きで、いつも次の飛躍を考えながら足元を固めてきたのではないのでしょうか。8名でスタート。人数が順調に増えて、3年経ってから第2（カフェ）ができて、それからもう2年が経ちました。今はまた新たな展開（作業の見直し）を考えているところです。このエネルギーとパワーの源は、やっぱり、耕す会を作り、運営し、発展させてきた先人と、その趣旨に賛同して集まってきた人々、側面から支えてくれている人々、等々皆さんの人が関わっていることだと思います。特に、日頃から、ボランティアで関わって下さっている方には、本当に色々お世話になっていて、頭がさがる思いです。これからもよろしくお願ひします。

今後ますます、しごと場大好きが発展していくことを願って、そこに自分も微力ながら、関わっていただけることを誇りに思いつつペンをおきます。

後藤 朋子
5周年の記念誌を作るにあたってこれまでの会報を読み返したり昔の写真を整理したりしていると、今までのことをいろいろと思い出し、とても懐かしく感じました。
大好きで働くようになってすぐに「ゴッチ！」と呼んでもらえる仲間になってから、いつもメンバーに遊んでもらって楽しませてもらいながら過ごし、そして、何かあるとそのたびにメンバーの笑顔に元気づけられました。みんなはとっても不思議な魔法をもっているのではないかなと思います。

過去を振りかえると思い出が山ほどあって、うまくまとまりませんが、《大好き》で働けることを、本当に幸せだなーとしみじみと感じます。
たくさんの方にお世話になってきました。これから少しずつお返ししていけたらと思っています。そして今までどおり、のびのびと楽しくメンバーと過ごしていきたいと思っています。
最後に一言
私は《大好き》がとっても「大好き！」です！

長井 啓子
私が「大好き」と出会ってから2年が過ぎました。その2年間に私は結婚し、子どもを産みました。けっこうハードなことをしていると自分でも思うので、周りの方々には驚きの連続だったのでは、と思います。そんな私は今、産休中です。考える時間が沢山できて思ったことは「大好き」に会ってから私は幸せいっぱいだねーということです。
妊娠してからはげまじやお祝いのメッセージを沢山頂きました。私の大切な大切な宝物になっているそのメッセージの中に「はやく大好きにきて下さい」というのがありました。大好きの中で自分は何ができたのか、何をしてきたのかと考えると反省することばかりの私に、この一言はなんかとってもあたたかいものをくれました。妊娠したと分かった時から何度か仕事をやめたほうがよいのでは、と考えたこともありましたが、やっぱりやめたくない。子育てと仕事の両立は難しいし、色々な人に迷惑をかけてしまうけれど続けたい。がんばってみようと思っただけよかったとこの一言は思わせてくれました。そして、「大好き」が皆好きなんだなーとも感じました。
大好きなものが沢山ある、そんな私は幸せ者だねーと思います。私を幸せな気持ちにさせてくれる「大好き」を作ってくれた方々に感謝しています。

足立 美雪
「しごと場大好き」と出会って一年。今まで一番忙しい一年で、最高に楽しい一年でした。4年間を見逃してしまったことが残念です。
この一年、本当にたくさんの方々にパワーをもらって、支えられて過ごしてきました。「大好き」にかかわる方たちのあたたかさに感謝しつつ、私も人を支えられるようになっていきたいと思っています。
いつもみんなが笑顔でいられますようにと願いながら、メンバー一人一人と向き合っていきたいと思っています。
これからも、どうぞよろしくお願ひします。

お世話になってます

おかげさまで、5年間愉快地活動することができた「大好き」。多くの団体・個人の方々からのご支援なくしてはこの5年間はありませんでした。本当にありがとうございました。すべての方々をご紹介することはできませんが、継続してお世話になっているみなさんと、寄付品・寄付金等のご支援をいただいた団体の方々をご紹介させていただきます。

お世話になっているみなさん

- 深見圭子先生** 「しごと場大好き」開設準備の時から、組みひもをやさしくご指導していただいています。先生に教えていただくことによって、メンバー達の技術はゆっくりとですが確実に向上してきました。
- 田上邦彦先生** 5年間にわたり、和太鼓を月1回教えていただいています。みんなのペースにあわせてゆったりと進むレッスン。太鼓の楽しさを教えてくださいます。
- 共同募金会様** 開設当初から、運営経常費・宿泊補助費の他、陶芸用の窯など様々な助成をいただいています。
- 村瀬 忠俊様** 「しごと場大好き」の大家さん。みんなのよき理解者でもあります。
- (有)調布清掃様** 牛乳パック回収の際の車を、無償で提供して下さっています。
- (株)主婦の友社様** 開設準備の頃から、毎年バザー一品を多数提供していただいています。
- (株)主婦と生活社様** バザー一品を多数提供していただいています。
- 善意 銀行様** 毎年多数の寄付品の仲介をしてくださっています。
- 牛乳パック回収連絡会様** 開設当初から牛乳パック回収の仕事を提供してくださっていました。
- 国際ソロプチミスト東京-調布様** 毎年多額の寄付金をいただいています。

寄付品・寄付金・助成金

1992年	第百生命フレンドシップ財団様	助成金
1994年	東京電力労働組合様	寄付金
	共同募金会様	助成金 電気釜
	木下財団様	助成金 システムキッチン
	東京馬主協会様	タウンエース 大好き号
	国際ソロプチミスト東京-調布様	寄付金
1995年	共同募金会様	助成金 電気釜自動焼成装置
	多摩プロゴルフ会様	寄付金 カメラ・ビデオ
	国際ソロプチミスト東京-調布様	寄付金
	東京都福利厚生事業団様	ミニコンボ・FAX
	調布市婦人会館-外連絡会様	寄付金
1996年	東京YWCA様	寄付金
	ポロニア会様	寄付金
	共同募金会様	助成金 (運営経常費・宿泊補助費)
	国際ソロプチミスト東京-調布様	寄付金
1997年	国際ソロプチミスト東京-調布様	寄付金
	共同募金会様	助成金 (運営経常費・宿泊補助費)

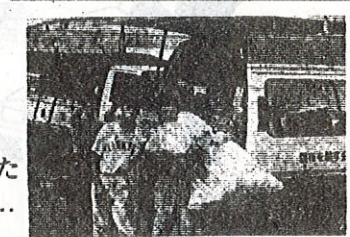
メディアに載った「大好き」



1993年5月13日
読売新聞掲載

調布市右原二丁目にある「しごと場・大好き」がオープンした。調布市福祉作業所「しごと場・大好き」の開設式が行われ、地域のボランティアが中心となって開設した作業所は同市内で初めて。運営主体は「調布を耕す会」(役員藤明代表)。障がい者も参加する文化サークルや、手話サークルの文化サークルの人が集まって、昨年1月発足させた。資材のバザーや場所探しを経て、都と市の補助も受けることが決まり、先月オープンしていた。同作業所では、業者から受注するもの、手順が決まらぬ作業は原則的に避ける。障がい者も、畑で野菜作りなどを中心に掘る。また、閉じこもるのではないと、月に一度は電車やバスに乗って外出することを計画。先月、五百人には早速都庁に出かけた。今はまだ八人が通ったばかり。

仕事がいそいそ



あなたの出した牛乳パックが...

猛暑をものともせず、京王ストア神代店から、よいしょ！よいしょ！と牛乳パックのいっぱい詰まったビニール袋を重そうに運んでくる福祉作業所「仕事場だいすき」(亀田良一郎代表)の方たちは汗ビッシュリ。今日は木曜日。市内スーパー・公共施設にある21か所の牛乳パック回収ステーションを回って、清掃事務所の倉庫までワゴン車2台で4往復するのが彼らの仕事です。調布市牛乳パック回収連絡会(半田久代会長)のお誘いで回収を始めて1年半が経過しました。おかげさまで、市民のみなさん、スーパーのご協力により作業も順調に進むようになりました。作業報酬はみんなの自立に大きな励みとなるし、なんとといっても室内の作業より外へ出る仕事がいそいそ！なことは彼らの笑顔が物語っています。

1994年8月9日
ザ・リサイクル掲載

障害者の働く場「しごと場・大好き」訪問記



お湯飲みづくり作業中

上石原二丁目にある「しごと場・大好き」は職員四名、所員十二名で構成されている福祉作業所。「調布を耕す会」が運営しています。「こなんち」は「とア」を開けると、元気に歌いながら「らくら」を回している仲間が笑顔にふつかりました。「しごと場・大好き」は、地域のなかで生きいきと、そして豊かに

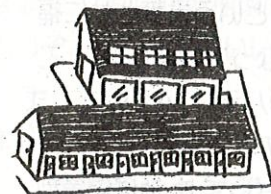
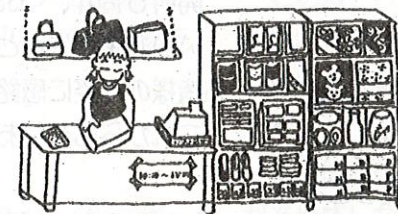
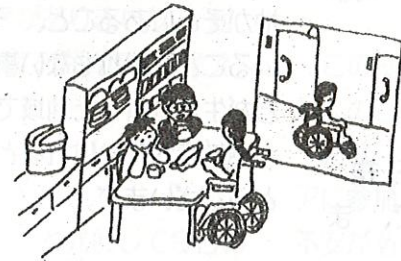
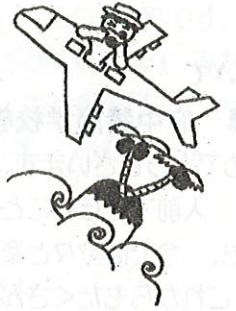
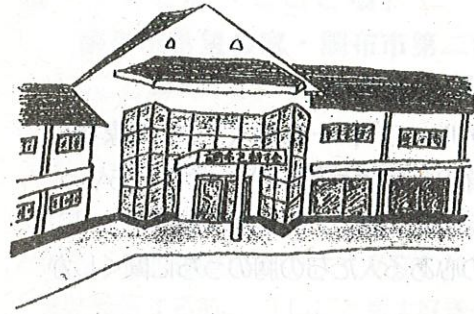
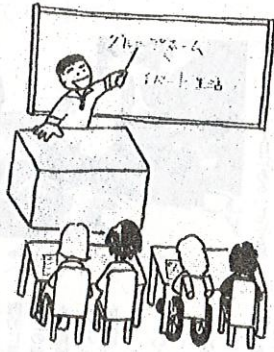
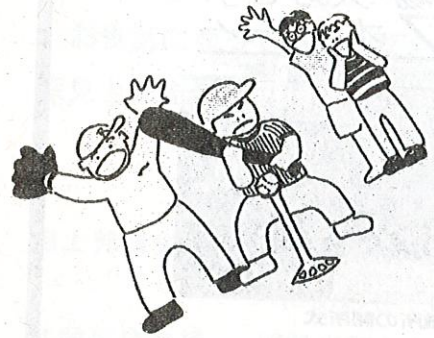
ゆかきにゆうゆうと、を目指して昨年間所。手順が決まらぬ作業は原則的に避け、畑仕事、陶芸、組みひもなどの創造的作業を行っています。また地域に根ざすことを目指して、牛乳パックの回収、地域の掃除、地域向けバザーなどを行っているそうです。そんなところから、この近所づくしあいま始まり、地域の方々からはバザーへの協力もいただき、作業所への理解へとつながっているようです。若い職員の方達と仲間の関係が、作業所の雰囲気を感じさせるかのよう。一人ひとりが個性豊かな表情をなげかけてくれました。訪れた日の午前中は畑仕事でした。草むしりなどの作業は、なかなかたいへんなようです。今までにない作業所の形態に驚かされたが、さまざまな個性を持った作業員があることは、本人の選り好みも広がり、それを生かした作業所に通所することで、地域のなかで個性を生かせる場の確保となり、そこで暮らせる第一歩にもつながるのではと感じました。そこからまた、仕事に対するからみもこれから生まれるので、そんな仕事も考える訪問となりました。



収穫の様子

1994年9月1日
福祉の窓掲載

大好き 夢の行方



メッセージ

太鼓たたいて

太鼓指導 府中養護学校教諭 田上邦彦様
5周年おめでとうございます。太鼓の前でバチを持つこと、人前でたたくことを恥ずかしがっていた皆さんも、今では堂々と楽しくうってすごいです。これからたくさん汗をかいて、何事にも挑戦してください。

6年をとおして

組みひも講師 深見圭子様

大好きの方々に出会ったのは、6年前で、まだ作業所ができる前でした。

福祉センターで組みひもを始めた頃、台の前にじっと立っている事がやっとの状態で、糸を動かすことができるかどうか心配でしたが、今は色の好みも、組み方も自分で選べるまでに成長した皆さん。

カフェと2箇所に分かれても、暇なときに組みひもを組んでいると聞きました。

今の希望は、それぞれが組んだひもで、世界に一つの自分だけのおひなさまや兜が、作れるようになって欲しいということです。

調布の町を明るく照らそう

クッキングハウス一同様

5周年おめでとうございます。いつもクッキングハウスのお弁当をご利用頂きまして有難うございます。取りに来て下さる皆様の笑顔に励まされ、毎回メニューを考えるのが楽しみです。調布の町を明るく照らす福祉の発信基地として、お互いに力を出し合い、歩んでいきましょう。

パック回収ご苦労様

牛乳パック回収連絡会 半田久代様

5周年、真におめでとうございます。スタッフの皆様、本当にご苦労様です。

牛乳パックの回収作業をしている、メンバーの皆さん方の元気で楽しそうな姿を拝見するたびに私

も嬉しくなります。

今後ますますのご発展と皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。

普通の暮らしを求めて

グループホームぼくたちの家様

あっという間の5年だったのか、それともやっとな5年だったのか。それは「耕す会」に関わった多くの心ある人たちの胸のうちに聞かれないでしょう。

しかしながら、皆さんの手によって耕された大地がそこにあること、そして様々な芽が芽生えていることは紛れもない事実です。障害を持つ人たちが生まれ育った地域で普通の暮らしをおくれるよう共に歩んでいければと思っております。おめでとうございます。

5周年おめでとう！

調布くすの木作業所様

“大好き”さん5周年おめでとうございます。次々と若者らしい発想で新しい取り組みをしている職員さんたち。それを暖かく見守っているお母さんたち。地域の人たち。しっかりした輪の中で生き生きと生活しているメンバーのみなさん。これからもますますの発展を期待しています。

お祝いの言葉

野いちご作業所様

開所5周年、おめでとうございます。いつも生き生きと輝いて作業に取り組んでおられる皆様のお姿に感銘を受けております。これからも益々お元気で頑張ってください。

バリアフリー社会を目指して

爽々苑・爽々苑やわらぎの家様

「しごと場 大好き」開所5周年おめでとうございます。

最近ではバリアフリーという言葉が国政でも認知され、ノーマライゼーションという言葉と共に福祉を語る上でのキーワードになってきました。これも、先に行われた長野でのパラリンピック、また、「しごと場 大好き」のようなNPOが「障害のないまちづくりをめざして」地域密着型の活動を進めてきたからでしょう。これからも今

まで以上のご活躍を期待しております。

祝・すてきな「しごと場」

調布市希望の家・調布市第二希望の家様
「しごと場大好き」開所5周年おめでとうございます。

「大好き」というすてきな名前、よく考えたものです。みんなが毎日楽しく通える場をつくろうという、関係者の思いがよくあらわれています。

まだ開所する前、「しごと場大好き」では作業所らしくないという意見もあって、その名前にするかどうか決めかねていたときがありました。耕す会で使わないなら、希望の家で使いたいと考えたことがありました。

もちろん、希望の家のニュース「しごと場大好き」は実現せず、作業所の名前として、「しごと場大好き」「Cafe 大好き」と発展して今日の活躍があります。

これからも、すてきな「しごと場」を育て、「大好き」な場をいくつもつくっていきましょう。

個性的なしごと場に期待

ポコポコホッピング様

「仕事が楽しくて大好き」というこのままを職場名とするなんて！良く考えたものだと感じたときから5年。早いものです。組みひも、陶芸作品は作った人の顔が見えるようで、すっかり自信作となりましたね。皆様が作りあげていく個性的なしごと場に期待しています。

地域の仲間として

東京YWCA国領センター様

5周年本当におめでとうございます。いつも「しごと場大好き」のいきいきと働く皆さんの姿に励まされています。

今年は、YWCA国領センターも30周年を迎えます。共に歩む地域の仲間として、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

お祝いの言葉

総合福祉センター「まなびやクラブ」様
しごと場大好き、開所5周年ほんとうにおめでとう

ございます。

「しごと場大好き」で働くみなさんにお会いしていると、みなさんの笑顔をとおして「しごと場大好き」がめざした福祉像や作業所像がよく理解でき、また、共感することばかりです。

これからも「しごと場大好き」みなさんが、その可能性を生かし、生活を広げていかれることを心から期待しています。ともに歩んでいきましょう。

ボランティアを通して

調布市役所勤務 江田信久様

この度「しごと場大好き」が5周年を迎えられたとのこと、本当におめでとうございます。

私は、2年前にスキー合宿を通じてボランティアに参加させていただきました。初めは戸惑いや不安がありましたが、スキーやそり遊び・入浴などのスキンシップを通しコミュニケーションを深めることによって、意思疎通が図れたことを肌で感じ、とても良い体験ができました。

この経験を行政の中でも生かしていきたいと考えます。

今後も皆さんと共に成長していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

私を感じたこと

調布市役所勤務 小野寺栄孝様

この度「しごと場大好き」の皆さんは、開所5周年を迎えられたとのことですが、私は2年前に職場の先輩を通してボランティアに参加させていただき、初めて交流させていただきました。

初めはどのようにしていいのかわからずに戸惑いがありました。

しかし、皆さんとの交流のなかで理屈ではなく、心のふれあいを持たせていただく中で、私自身もわずかながら成長できたと思います。

今後も皆さんのご活躍をお祈りいたしております。

5周年記念のメッセージ

リフレッシュクラブ様

大好きの皆さんが楽しそうに働く姿に接し、陰ながら応援しています。これからのご発展をお祈りしております。

更なる笑顔にかんぱい

不思議屋様

5周年おめでとうございます。

「仕事」が大好きだから「しごと場大好き」なのではないでしょうか……。

「しごと場大好き」が好きだから「仕事」が楽しいのでしょうか。私は「しごと場大好き」が好きだからみーんな笑顔がいいんだと常々思っています。ス・テ・キな笑顔をありがとう。

お祝いの言葉 大家さん 村瀬忠俊様

調布市の社会福祉の発展並びにボランティア活動に貢献されている亀田さんを代表とする職員の皆様の日頃のご苦労に対し、衷心より敬意を申し上げますと共に地域社会のため「しごと場大好き」の益々のご発展を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

明るさとチームワークをいつまでも

調布市社会福祉協議会勤務 中島勝夫様

しごと場大好きは、早くも創立5周年。心からお祝い申し上げます。

ごく普通のしごと場として、着実に地域に溶け込んでの活動。これは関係の方々の情熱と市民の暖かい応援があったからでもあり、嬉しく思います。これからも、持ち前の明るさとチームワークを維持し、頑張ってください。私も微力ながら後押しさせていただくつもりです。

調布市の福祉に影響と足跡

ポピーの家第1・第2様

5周年おめでとうございます。調布市の福祉活動に、大きな影響と足跡を残された貴会に、心から敬意を表します。

さらなるご活躍と、いっそうのご奮闘を衷心からお祈り申し上げます。

後へ続く者

調布第二わかば福祉作業所 長尾栄治様

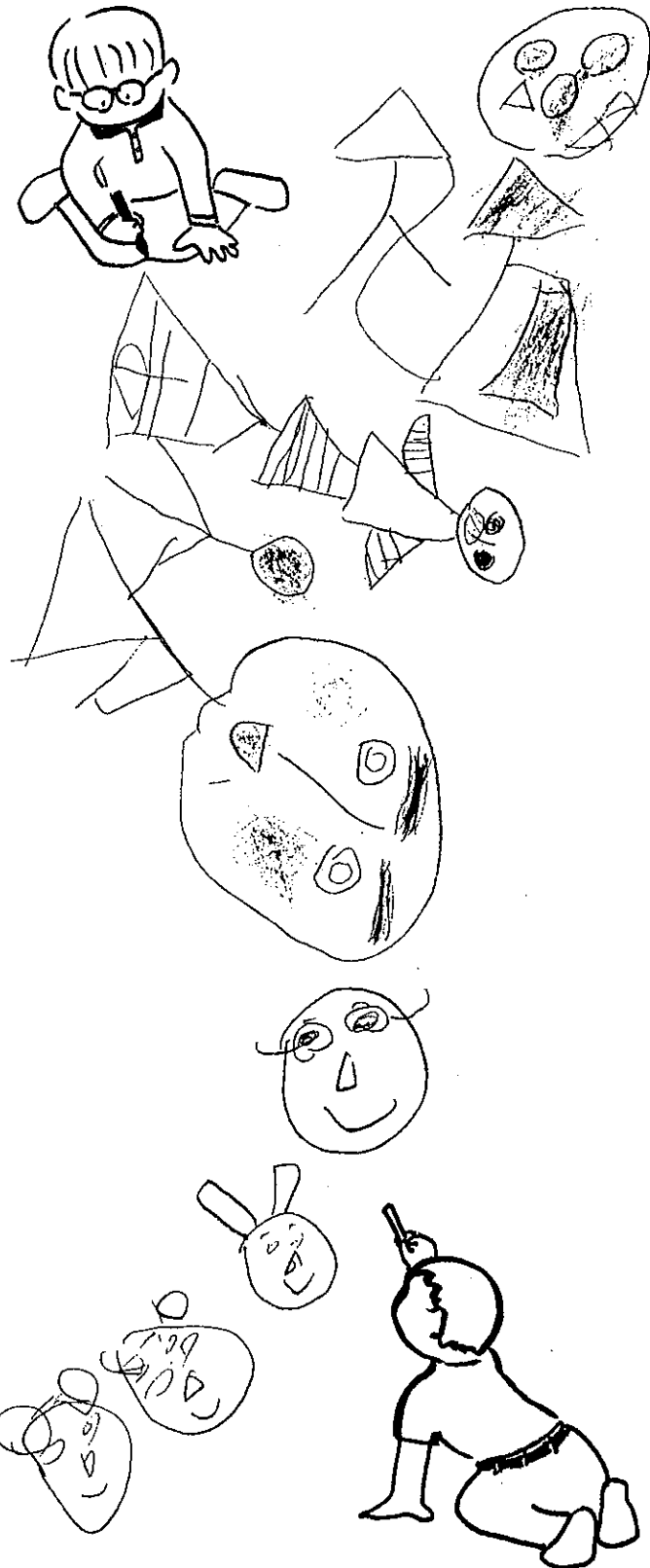
「しごと場大好き」開所5周年おめでとうございます。心から、お祝い申し上げます。

「しごと場大好き」は、“地域”と直結し、喫茶店・コンサート等を通して多くの方に親しま

れている作業所だと感じております。

これからも、調布の福祉作業所のリーダー的存在として活躍している姿を学び、私たちも後に続き頑張っていきたいと思っております。

今後、ますますのご発展とご繁栄を祈念いたしまして、お祝いの言葉と致します。



関連事業紹介

Cafe大好き

96年5月に第2作業所としてオープン。市民と直接触れ合える「場」を求めて、福祉ショップを併設した喫茶店形式で、運営しています。現在9名のメンバーが通い、調理・接客・レジ等業務全般に携わっています。

■主な事業内容

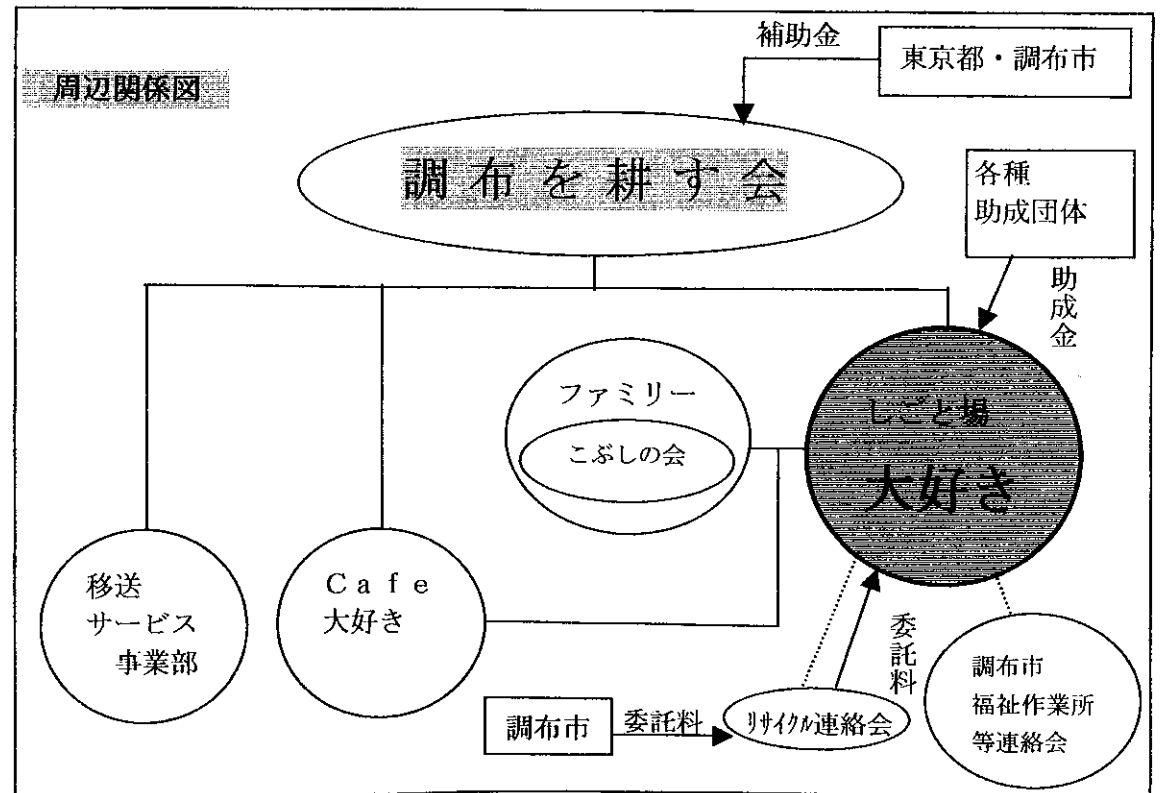
- 喫茶店事業 喫茶とパン・軽食を市民へ提供する事業
- 福祉ショップ事業 地域の作業所の自主製品を展示販売する事業
- 地域貢献活動 牛乳パック回収・地域公園の清掃などを行う事業
- 地域交流事業 展覧会・講演会などの地域向けイベントを行う事業

移送サービス事業部

94年4月に「調布を耕す会」の新規事業としてスタート。リフト付ワゴン車を活用して、市民運転ボランティアの協力を得ながら、既存の交通機関を利用しにくい人たちの外出を支援しています。

■主な事業内容

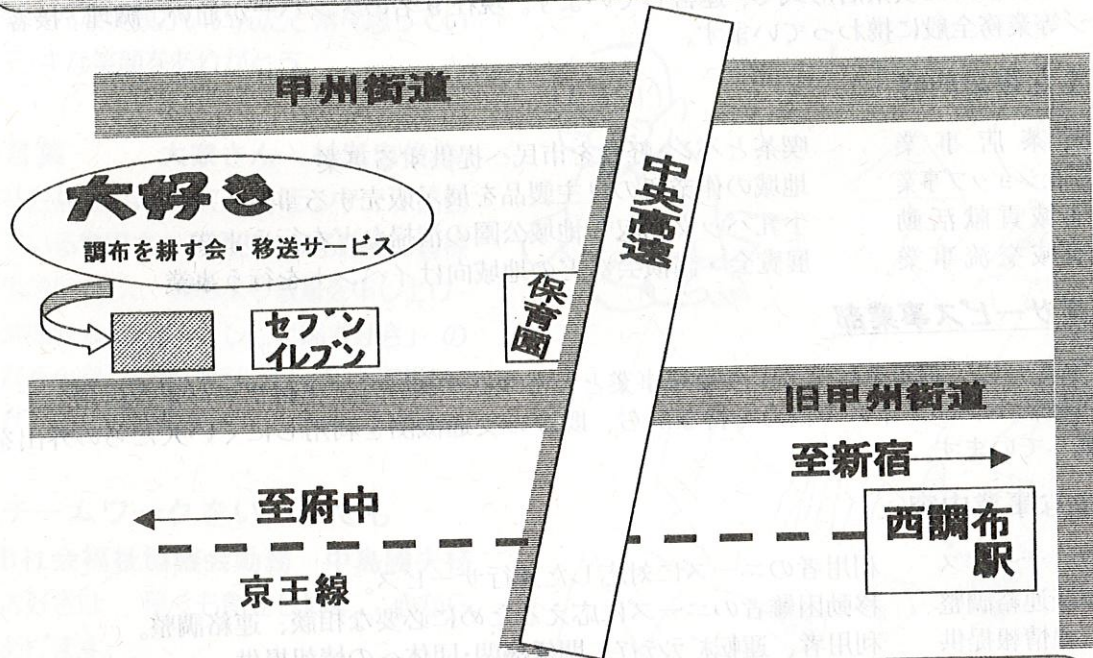
- 運行サービス 利用者のニーズに対応した運行サービス。
- 相談連絡調整 移動困難者のニーズに応えるために必要な相談、連絡調整。
- 広報情報提供 利用者、運転ボランティア、関係機関・団体への情報提供
- 行事 利用者、運転ボランティア、職員相互の研修と交流を図る研修交流会
- 調査・研究 運行サービスシステム・非営利型地域移送サービスの確立に向けた調査研究



しごと場大好き

調布を耕す会
移送サービス事業部

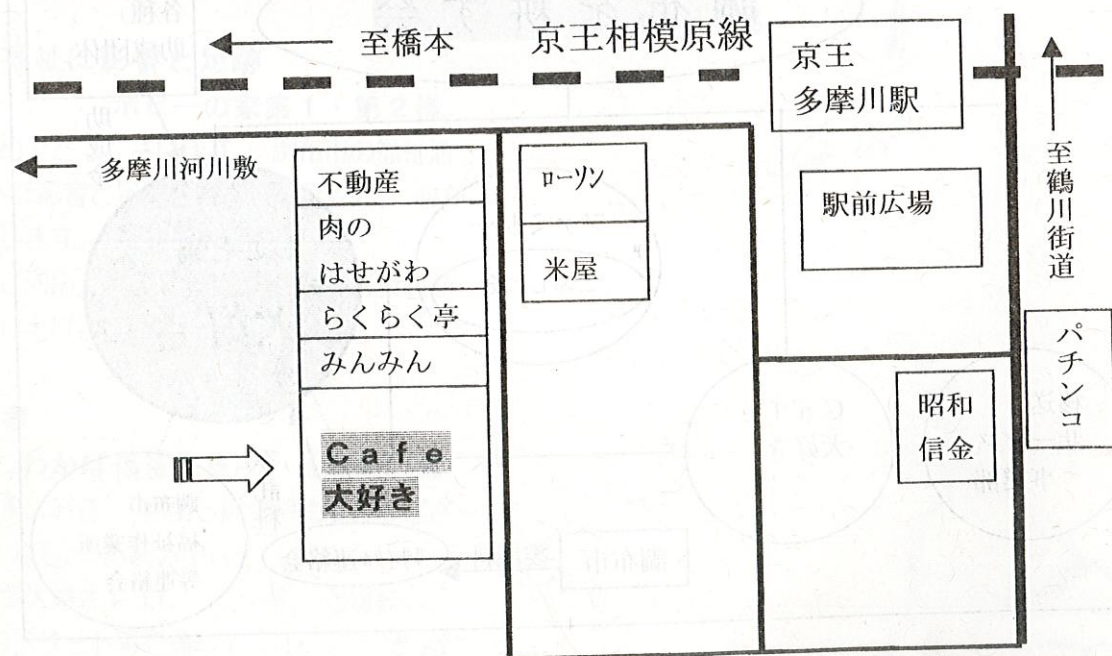
東京都調布市上石原1-11-26村瀬ビル1F
TEL/FAX 0424-86-1022



Cafe 大好き

駅から徒歩30秒

東京都調布市多摩川5-7-4京王多摩川88ビル1F
TEL/FAX 0424-81-3933



調布を耕す会

福祉作業所 しごと場 大好き

開所5周年記念誌

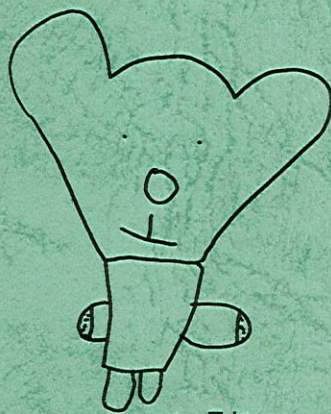
1998年7月発行

編集・発行 調布を耕す会・しごと場大好き

〒182-0035

東京都調布市上石原1-11-26村瀬ビル1F

TEL/FAX 0424-86-1022



by 昌仁